



アクションリサーチの理論と実際

—なぜ、どのように、自らの実践(action)を研究(research)するか—

2019

4.24 Wed.

18:30-20:00

会場：広島大学大学院教育学研究科B101

教育現場における教師の役割は、理論の「消費者」から「生産者」に変わりつつある。教師は自らの実践を研究することで、授業そのものの質を高めるだけでなく、そのプロセスから生まれた文脈性豊かな知識を類似した悩みを抱く他の教師にも転用していくことが求められている。

そこで、本セミナーでは、金が大学院生らと実施した批判的パトリオティズム (critical patriotism) をテーマとしたアクションリサーチを事例に、「自らの実践を研究すること」と「その結果を共有すること」の意義と手続きについて考えたい。

発表者：金 鍾成 (社会認識教育学講座・助教)
久保 美奈 (社会認識教育学専修・博士課程前期院生)
青本 和樹・篠田 裕文 (同上)
討論者：木下 博義 (教職開発講座・准教授)
世話役：金 鍾成

主催：広島大学教育ヴィジョン研究センター (EVRI)
申し込み先：EVRI事務局 082-424-5265 evri-info@hiroshima-u.ac.jp



どなた様も自由にご参加いただけます。

資料準備の都合上、事前にお知らせいただくと幸いです。

←QRコードからの申し込み可